

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 人間科学部

名 前 丸井 英二

作成日 2023年9月28日

1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

担当科目：公衆衛生学Ⅰ（必修、健康栄養学科2年）、公衆衛生学Ⅱ（必修、健康栄養学科3年）、総合演習（必修、健康栄養学科4年）、環境と健康（選択、看護学科2年）、国際保健医療論（選択、看護学科・リハビリテーション学科、3年生）、健康科学論（人間科学科）、健康増進科学特殊講義（選択、大学院博士課程）。早稲田医療技術専門学校校長を兼務。

2. 理念（教育に対する考え方）

学生が自発的に関心をもつことを重視している。講義では教科書的な知識の提供にとどまらないようにしている。学生が与えられることを待つのではなく、自分で考える姿勢をつくりたい。学生とともに問題を考えながら展開していきたい。また、個別の知識の記憶ではなく、つねに全体的な枠組みを理解することをめざしたい。そのうえで、全体の中で個々の情報や知識を位置づけ、相互関連を認識して活用できるようサポートすることを目指す。

3. 方法（教育方法において大切にしていること）

教壇上で一方的に講義を行うのではなく、学生との対話を通じて授業を展開している。そのため、学生の間を歩き回り、随時、個別に質問を投げかけ、学生からの回答を求めている。学生の回答については正しさを要求せず、どのような回答であっても否定しないことを心がけている。反応あるいは回答したこと自体を評価しつつ、学生の自発的関心や参加の意欲を高めるようにしている。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

学生は受け身で講義を聞くのではなく、参加感をもつことで、教授内容についての関心を高めているようである。もちろん、学生にはバラツキがあり、慣れていないために対話型の授業を避けたい学生もあいて、そのような反応もある。しかし、全体としては、その後の、たとえば国家試験への取り組みの際の姿勢にも、対象領域への嫌悪感や抵抗感をもつことが少なくなっていると感じられる。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

現在は、2年生、3年生を対象に講義をしているので、直接的に国家試験に結びつけてはいない。そのため、毎回の配布資料は、講義で使うPPTを中心に作成しているが、毎回の散発的なものではなく、今後2～3年かけて全体を見渡せるような統合的な形に改善し、4年生の総合演習など国家試験対策の資料としても使えるようにしていきたい。

* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

* TPの記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。
(シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、すぐに確認できるようにしておきます。)